

スポ協 TOYAMA

パリ2024オリンピック



大堀 彩選手 (トナミ運輸(株))

写真提供:富山県バドミントン協会

CONTENTS

第78回国民スポーツ大会
パリ2024オリンピック

未来のアスリート発掘事業
富山県民スポーツ応援団
富山から世界へ

令和6年度富山県スポーツ協会表彰

第34回富山県スポーツ少年団競技別総合交流大会
北信越ブロックスポーツ少年団競技別総合交流大会
日独スポーツ少年団交流事業
第77回富山県民体育大会

Enjoy!スポーツとやま2024
地域スポーツ推進事業

富山県内総合型地域スポーツクラブ
総合型地域スポーツクラブ紹介
富山県スポーツ指導者研修会
加盟団体紹介

令和6年を振り返って 富山県高等学校体育連盟
令和6年を振り返って 富山県中学校体育連盟
令和6年度富山県スポーツ協会役員

Vol.33
2025

第78回国民スポーツ大会



＝ 総評 ＝

公益財団法人富山県スポーツ協会副会長
第78回国民スポーツ大会
富山県選手団 副団長

蔵堀 祐一



総合開会式で健闘を誓う富山県選手団

皆様には、日頃から本協会や本県のスポーツ振興にお力添えを賜り、心から感謝申し上げます。

さて、「国民スポーツ大会」に名称を変更して初めて開催された今大会は、昨年1月～2月に北海道でスケート・アイスホッケー競技会、2月に山形県でスキー競技会、そして9月～10月に佐賀県を中心に本大会が開催されました。

私も県選手団の副団長として、本大会で監督・選手の皆様を激励し、皆様の強い意気込みを感じることができました。

冬季大会のスケート競技では、スピード成年女子3000mで前田 梓選手の2位、スキー競技では、成年男子Aクロスカントリー10kmとクロスカントリーリレーで廣瀬 峻選手の2冠、成年男子Aクロスカントリー10kmで山下 陽暉選手の3位など本県選手団が15の入賞を果たしました。

本大会では、ライフル射撃競技の成年女子10mエア・ライフル60発で旭 夏希選手の優勝、ウエイトリフティング競技成年男子109キロ超級スナッチでの村上英士朗選手の2大会ぶりの優勝、カヌー競技成年女子スプリントカヤックシングル200mの浦田 樹里選手の2連覇、そして少年男子スプリントカヤックペア（酒井・藤縄組）500mの優勝など10種目で上位入賞を果たしました。

本協会としましては、今後とも全国や世界で活躍する選手の育成に努めるとともに、競技スポーツのさらなる振興を図ってまいります。皆様には一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本県のスポーツの普及振興並びに競技力の向上に力を尽くしていただいている各競技団体をはじめ関係の皆様を重ねて感謝申し上げますとともに、選手・監督の皆様のますますのご活躍を心からお祈り申し上げます。



第78回国民スポーツ大会 栄光の優勝者

第78回国民スポーツ大会 総合成績

		冬季大会	本大会	総合成績
男女総合成績	得点	88.0点	597.0点	685.0点
	順位	18位	46位	44位
女子総合成績	得点	43.0点	428.5点	471.5点
	順位	15位	40位	39位



写真提供:北日本新聞社

ウエイトリフティング 成年男子
109kg超級スナッチ 1位
村上 英士朗 選手



写真提供:北日本新聞社

スキー 成年男子A
クロスカントリー10km 1位
廣瀬 峻 選手



本人提供

ライフル射撃 成年女子
10mエア・ライフル(60発) 1位
旭 夏希 選手



写真提供:北日本新聞社

カヌー成年女子スプリント
カヤックシングル200m 1位
浦田 樹里 選手



写真提供:北日本新聞社

スキー 成年男子
クロスカントリーリレー 1位
富山選抜
(左から)山崎 大翔 選手、竹原 義之 選手、山下 陽暉 選手、廣瀬 峻 選手



本人提供

カヌー少年男子スプリント
カヤックペア500m 1位
酒井 海倫 選手(左)と、藤縄 輔哉 選手

第78回国民スポーツ大会 競技別入賞

男女総合成績（天皇杯）

No.	競技名	順位
1	スキー	7位

女子総合成績（皇后杯）

No.	競技名	順位
1	カヌー	7位
2	ホッケー	8位

第78回国民スポーツ大会 上位入賞者



本人提供

陸上競技 成年男子
3000mSC 3位
鈴木 聖矢 選手



写真提供:北日本新聞社

スキー 成年男子A
クロスカンントリー10km 3位
山下 陽暉 選手



写真提供:北日本新聞社

スケート 成年女子
スピード3000m 2位
前田 梓 選手



本人提供

アーチェリー 少年男子
富山選抜 2位
(左から)道添 光輝 選手、白川 仁 選手、橋 鼓太郎 選手



写真提供:北日本新聞社

ローイング 成年女子
シングルスカル 3位
四方 美咲 選手

第78回国民スポーツ大会 入賞者一覧

● **冬季大会** 令和6年1月27日(土)~2月3日(土)〔スケート競技会・アイスホッケー競技会〕 北海道苫小牧市
令和6年2月21日(水)~2月24日(土)〔スキー競技会〕 山形県山形市・上山市・最上町

競技名	種別	種目	順位	選手及びチーム名(所属)	競技名	種別	種目	順位	選手及びチーム名(所属)
スケート	成年女子	スピード1500m	8位	前田 梓(ダイチ株)	スキー	成年男子	クロスカントリーリレー	1位	竹原 義之(農研総合法人野口農研総合)
		スピード3000m	2位						山崎 大翔(早稲田大学)
		スピード1500m	6位	賀来 真穂(ダイチ株)					山下 陽暉(自衛隊体育学校)
		ショートトラック500m	6位	菊池 萌水(KHネオケム株)					廣瀬 峻(株長田組)
		ショートトラック1000m	6位						
スキー	成年男子B		4位	坂次 大和(砺波工業高等学校(教))		少年男子	クロスカントリーリレー	8位	三島 大橙(南砺平高等学校)
	少年女子	ジャイアントスラローム	7位	清利 葵乃(砺波工業高等学校)					坂大 芳輝(雄山高等学校)
			8位	上野 香晴(富山第一高等学校)					大瀬 優貴(南砺市立平中学校)
	成年男子A	クロスカントリー10km	1位	廣瀬 峻(株長田組)					宮田 敦生(南砺平高等学校)
			3位	山下 陽暉(自衛隊体育学校)					山崎 彩羽(南砺平高等学校)
					山本茉由子(南砺福野高等学校)				
				宮崎 美樹(早稲田大学)					
				宮木 真帆(日本大学)					
				成年男子B	スペシャルジャンプ		4位	山元 豪(ダイチ株)	

● **本大会** 会期前:令和6年9月5日(木)~10月1日(火)、中心会期:令和6年10月5日(土)~10月15日(火)
佐賀県一円(カヌー・スラローム:鹿児島県 自転車ロード:大分県 馬術:兵庫県)

競技名	種別	種目	順位	選手及びチーム名(所属)	競技名	種別	種目	順位	選手及びチーム名(所属)
陸上競技	成年男子	3000mSC	3位	鈴木 聖矢(富山大学教職大学院)	自転車	女子	500mタイムトライアル	6位	石中 葵(富山大学職員)
	少年女子A	300mH	7位	松木 愛結(龍谷富山高等学校)	ソフトテニス	少年男子		8位	富山選抜
水泳	成年男子	【飛込】高飛込	5位	坂田 麗鳳(日本体育大学)	馬術	成年男子	六段障害飛越	8位	崇田 和之(農業)
	成年女子	【競泳】200m個人メドレー	8位	山川 陽菜(神奈川大学)	バドミントン	成年男子		5位	富山選抜(トナリ運輸(株))
	少年男子	【飛込】飛板飛込	7位	坂田 力毅(富山国際大学付属高等学校)	バドミントン	少年男子		5位	富山選抜(高岡第一高等学校)
	少年男子	【飛込】高飛込	5位	坂田 力毅(富山国際大学付属高等学校)	弓道	少年男子	近的	8位	富山選抜
	少年男子A	【競泳】200mバタフライ	8位	森 祐太(高岡商業高等学校)		成年男子	50mライフル三姿勢	6位	長谷川智彦(マンテンホテル)
	少年女子A	【競泳】4x100mメドレーリレー	7位	富山選抜	ライフル射撃	成年女子	10mエア・ライフル(60発)	1位	旭 夏希(関西大学)
	少年女子B	【競泳】100m背泳ぎ	4位	大西 琴葉(南砺福野高等学校)	ライフル射撃	少年女子	ビーム・ライフル(60発)	5位	山田 愛弓(南砺福野高等学校)
	少年女子B	【競泳】4x100mメドレーリレー	8位	富山選抜	カヌー	成年男子	【スラローム】C-1(25ゲート)	6位	高木 信寿(公財)富山県スポーツ協会
ローイング	成年男子	舵手付きフォア	8位	富山選抜(富山国際大学)		成年男子	【スラローム】C-1(15ゲート)	5位	高木 信寿(公財)富山県スポーツ協会
ローイング	成年女子	シングルスカル	3位	四方 美咲(開進堂ホールディングス(株))		成年女子	【スラローム】C-1(25ゲート)	5位	荒城 祐佳(ゼビオ(株))
ホッケー	少年女子		5位	富山選抜(石動高等学校)		成年女子	【スラローム】C-1(15ゲート)	6位	荒城 祐佳(ゼビオ(株))
バレーボール	成年女子		5位	富山選抜		成年女子	【スプリント】K-1 500m	2位	浦田 樹里(早稲田大学)
バスケボール	成年男子		5位	富山選抜		成年女子	【スプリント】K-1 200m	1位	浦田 樹里(早稲田大学)
レスリング	女子	フリースタイル53kg級	5位	中村 成実(法政大学)		少年男子	【スプリント】K-2 500m	1位	富山選抜(酒井海・藤縄)
	少年男子	フリースタイル80kg級	5位	大庭 悠生(高岡向陵高等学校)		少年男子	【スプリント】K-2 200m	3位	富山選抜(酒井海・藤縄)
ウエイトリフティング	成年男子	+109kg級スナッチ	1位	村上英士朗(いちご(株))		少年女子	【スプリント】K-2 500m	8位	富山選抜(酒井星・一橋)
	成年男子	+109kg級クリーン&ジャーク	2位	村上英士朗(いちご(株))		少年女子	【スプリント】K-2 200m	8位	富山選抜(酒井星・一橋)
	少年男子	81kg級スナッチ	6位	石倉 健佑(滑川高等学校)	アーチェリー	少年男子		2位	富山選抜
	少年男子	89kg級クリーン&ジャーク	4位	中山 龍樹(滑川高等学校)	空手道	成年女子	組手	5位	三島 桜妃(国士館大学)

国民スポーツ大会優勝者寄稿



スキー競技 成年男子 クロスカントリー クラシカル 1位 廣瀬 峻
リレー 1位 (株)長田組

令和6年2月に山形県で開催された国民スポーツ大会クロスカントリー競技において、クラシカル種目とリレー種目ともに優勝し2冠を達成することができました。国民スポーツ大会という栄えある大会に富山県を代表して出場することができたことはもちろん、自身初となる2つの優勝を獲得することができ、大変嬉しく思います。

クラシカル種目では、成年男子A10kmの部に出場しました。同種目に出場するのは4年ぶり、前回出場した際は3位と悔しさの残る大会でしたが、今回はそのリベンジを果たすことができ、感無量です。またリレー種目では、アンカーを務め、チームの優勝に貢献できるよう全力でレースに臨みました。結果として、私個人の滑りはまだまだ課題の残る走りでしたが、頼れるチームメイトのおかげで優勝することができました。個人種目での優勝の嬉しさはもちろんですが、団体種目での優勝は格別で、私の競技人生の中で忘れることのできない、かけがえのない思い出になりました。

この度の国民スポーツ大会で優勝することができたのは、日頃から支えてくださるスポンサーの皆様、家族、コーチ、共に切磋琢磨してくれる仲間、そしていつも温かく見守り変わらぬご声援をくださる県民の皆様のご支援があったからこそだと思います。心から感謝申し上げます。

今後もクロスカントリースキーを通して富山県のスポーツ界の発展に尽力するとともに、県民の皆様にも明るいニュースをお届けできるよう精進して参ります。



ライフル射撃競技 成年女子 10mエア・ライフル(60発) 1位 旭 夏希
関西大学

令和6年10月に開催されたSAGA2024国民スポーツ大会ライフル射撃競技10mARにおいて優勝することができました。高校生から射撃競技を始め、全国優勝を飾ることができたのは今回が初めてでした。

10mARでは本戦で60発を1時間15分以内に撃ち、その合計点の上位8人が次のファイナルというステージに進むことができます。絶対にファイナルに進むという目標を立て、5位でファイナル進出を果たすことができました。初めはなかなかメダル圏内に入ることができず、やはりレベルの高い大会だと実感していました。また、1位にいるのはパリオリンピック出場選手ということもあり、全く優勝できると思っていませんでした。しかし、残り2発のとき私が逆転し、会場も自分自身もとても動揺しました。最後の1発、「優勝できなくても良い撃発で終わらせたい」という気持ちで撃ちました。私が優勝したとわかったとき、周りの歓声がより優勝したことを実感させてくれました。とても嬉しくて涙が溢れて止まりませんでした。

私は射撃競技で成績を残すことで親孝行ができたかなと思っていたため、今回優勝できたことで両親が1番喜んでくれたことがとても嬉しかったです。また、富山県代表として優勝できたことを誇りに思います。

これからは国際大会の出場も視野に入れ、より一層努力したいと思います。そして、応援して下さった皆様に心より感謝いたします。引き続き、応援をよろしくお願いいたします。

第33回オリンピック競技大会

2024年7月26日～8月11日、フランス（パリ）で第33回オリンピック競技大会が開催されました。富山県からは10名の選手が出場し、熱い戦いが繰り広げられました。

富山県スポーツ協会では、出場選手の応援バナーを富山県総合体育センターに展示し、県民の皆さんとともに熱いエールを送りました。



本人提供

ウエイトリフティング競技 村上英士朗 いちご(株)

富山県の皆様、こんにちは。

ウエイトリフティング競技の村上英士朗です。

このたび、パリオリンピックに出場する際には、多くのご支援と温かいご声援をいただき、ありがとうございました。

私がウエイトリフティングを始めたのは13歳のときです。当時は富山県総合体育センターで練習を続け、県内唯一のウエイトリフティング部がある滑川高校に進学しました。毎日、富山市内から電車で片道1時間以上かけて通学していました。その電車の中で、いつもオリンピックの映像を見て「自分もいつか出場したい」と夢を描いていたことを今でも覚えています。

そして29歳にして初めてオリンピックの舞台に立つことができました。長年、諦めずに競技を続けることができたのは、富山県の多くの方に支えていただけたおかげだと思っています。結果は男子102キロ超級で10位。入賞には届かず悔しさもありますが、観客の歓声に

包まれた瞬間に「またこの舞台に立ちたい」と強い想いが胸に刻まれました。

次の目標は2028年のロサンゼルスオリンピックです。今度はメダルを目指して、全力で挑戦していきたいと思います。

これからもウエイトリフティングの魅力を伝えながら、競技に励んでいきますので、応援のほどよろしくお願ひいたします。



本人提供

バドミントン競技 大堀 彩 トナミ運輸(株)

パリオリンピック、長い時間をかけてようやくたどり着いた夢舞台は、私にいくつかの大切なことを教えてくれました。

その中でもより強く感じた2つを紹介させていただきます。

まず1つ目は、[オリンピックの価値]というものです。

6歳から本格的にバドミントンを始め、その頃からずっと追いつけたオリンピックというものの価値は思っていた以上のものでした。

会場は普段の大会とは大きく異なる特別感があり、その空気に圧倒されるような雰囲気、試合数を重ねても毎回入場する度に鳥肌が立つほどのものでした。

オリンピックの期間中はもちろんですが、帰国してからもその価値を感じる事が増えました。

オリンピック前と比べると、その時を遥かに上回る数の人々が声をかけてくださり、オリンピックってやっぱり特別なのだと再確認した瞬間でした。

2つ目です。それは[スポーツを通じた平和]です。

今回パリオリンピックを経験し、スポーツに国境などないと強く感じました。

今まで交流した経験のない国や地域のアスリートがたくさんいましたが、選手村に戻るとそのようなものは全く関係なく、お互いに自国のピンを交換し、オリンピックでしかできない交流を楽しみました。

この舞台に辿り着くまで家族をはじめ会社の方々、富山県スポーツ関係者そしてスポンサーの方々など、数えきれないほどの方々が私のサポートに携わり力を貸してくれました。

心から感謝していると同時に、私自身がどれだけ恵まれ、そして幸せ者なのか、身に染みて感じた20日間になりました。本当にありがとうございました。



令和6年7月から大会終了まで富山県総合体育センターにて展示した応援バナー

未来のアスリート発掘事業

平成17年度からスタートした「未来のアスリート発掘事業」は、スポーツ能力に優れた児童を見出し、競技団体、学校、家庭と連携を図りながら“将来のスポーツ界を担う人材”の育成、“全国、世界の檜舞台で活躍できる選手”の育成をサポートしていくものです。県内の小学5年生全員を対象に公募するとともに、競技団体からの推薦者と合わせて書類選考・運動能力測定会等を経て選出された約60名が、発達段階に応じた育成プログラムを小学校卒業まで受講します。

毎月1回、著名な講師を招いて実施する育成プログラムは、知的能力育成プログラムと身体能力育成プログラムの2本柱で構成されており、児童のみならず、保護者も受講するプログラムが用意されています。現在1期生から19期生まで1,214名が指定され、それぞれの年代で国際大会や全国大会等に出場し優秀な成績を収めるなど、着実に成果をあげています。

測定会(2次選考会)

「全身反応」や「立ち幅跳び」「25m走」など7種目を実施しました。



測定会

メンタルトレーニング講座

心理的な働きを高め、試合で実力を発揮できる方法を学びます。



スポーツ栄養講座

トップアスリートになるために必要な食生活のあり方を学びます。



コミュニケーション

コミュニケーションのきっかけを作り、児童同士が関わり合いながら課題を解決する方法を学びます。



スポーツ障害講座

スポーツ中のケガの予防法やケガをしてしまった時の対処法等を学びます。



知的能力育成プログラム

コーディネーショントレーニング

運動場面の変化に対応して、全身を巧みにコントロールできる能力を高めます。



コンディショニング

自分の持っている力を発揮したり、疲労の回復を促すための体の使い方を学んだりします。



ファルトレクトレーニング

豊かな自然環境の中で地形を生かしたトレーニングを行うことで様々な変化に対応する能力を高めます。



NTC視察

日本のトップ選手が集う、味の素ナショナルトレーニングセンター（NTC）の視察を行います。最先端の施設を見学するとともに、特別講義にてアスリートとしての心得を学びます。「未来のアスリート」としての意識の高揚を図り、今後の競技活動へのさらなる意欲向上につなげます。



★児童・保護者の声★

- 知らない人、仲が深くない人とコミュニケーションをとったり、グループを作ったりすることができました。人との仲を深める力が強くなったと感じられました。自分は、人と関係をつくるのはかなり苦手だけど、この日のことを活かして応援してくれる人を増やせるよう頑張っていきたいです。(児童)
- 合宿を通して、今後経験するであろう、強化合宿、大会期間の保護者がいない時の生活を学ぶことができました。自分で考えて行動することができたと思います。「運動」「栄養」「休養」のサイクル、規則正しい生活を体験して、これからも頑張っていきたいと思います。(児童)
- 私は、大会当日にマイナス思考になり、なかなかいい結果で終わったことがありません。今日の話を参考にしてプラス思考で大会に挑みたいです。オリンピックでメダルをとる選手のような心技体の力をつけていきたいです。(児童)
- コミュニケーションのとり方や、勝ち負けの概念、どんな気持ちで試合に挑むか等を楽しくゲームを通して教わっていたのが印象的でした。コミュニケーションに特化したものはなかなか無いので、とてもよい経験になったと思います。(保護者)
- 毎回楽しみにしていて、トレーニングが終わってから家族にこんなことをしたといい、家族のみんなのいい刺激になっています。スポ少、クラブでは教わっていないことを聞いているので、子どもにとっても刺激的です。(保護者)
- 仲間と一緒に過ごした1泊2日は、今後の生活リズムを正し、スポーツに取り組む気持ちをよりいっそう高め、意識するようになりました。いつもとは違ったトレーニングで体の使い方を知り、やりきった充実感で、たぐましくなりました。(保護者)

富山県民スポーツ応援団 トップアスリート支援事業選手紹介

ウェイトリフティング

村上英士朗
所属:いちご(株)

バドミントン

保木 卓朗
小林 優吾
大堀 彩
所属:トナミ運輸(株)

スケートボード(ストリート)

中山 楓奈
所属:ムラサキスポーツ

富山県のトップアスリート
を支援しています。

令和6年度実績

スキー(クロスカントリー)

廣瀬 峻
所属:(株)長田組

山下 陽暉
所属:自衛隊体育学校

蛭沢 克仁(指導者)
所属:立野ヶ原スキークラブ

ラグビーフットボール

田中 笑伊
所属:ながとブルーエンジェルス

スケート(スピードスケート)

百瀬 愛美
所属:ダイチ(株)

スケート(ショートトラック)

菊池 萌水
所属:KHネオケム(株)

※所属は助成対象者認定証交付式(R6.8)時点

世界の舞台で活躍する『未来のアスリート発掘事業』修了生

～未来のアスリート発掘事業から世界へ～



★13期生 有言実行

水泳競技 男子 鎌田望琥人
高岡商業高等学校3年

2022年度日本水泳連盟ジュニアブロックシンガポール遠征派遣選手に選ばれ、初の海外遠征を経験しました。憧れのシンガポール派遣選手に選出されたことは夢のようでした。ここまでの過程にはジュニアオリンピック・国民体育大会・インターハイなどでの成績が関与しており、今まで頑張ってきた成果を認められ、努力が報われました。

シンガポールに向かう前に派遣選手団は味の素NTCにて合宿をしました。『未来のアスリート発掘事業』で見学した味の素NTCは憧れの施設であり、そんなところで今自分がトレーニングできるということに喜びを感じました。大会では、50m・100m・200m平泳ぎ、100mバタフライ・自由形に出場しましたが仲間たちがどんどんメダルを獲得していく中、自分は表彰台どころかベストタイムさえ出すことができず、焦りと悔しさばかりが募りました。そんな中迎えた最終日、100m平泳ぎ3位、50m平泳ぎでは優勝することができ、「これで安心して帰国できる」と男泣きしてしまいました。海外の選手たちと競うことで自身のレベルを再確認することができたこと、一緒に戦える仲間と出会えたことは私にとって大きな糧となりました。

今年は高校生最後の年でした。目標である「インターハイ優勝」を公言し、『未来のアスリート発掘事業』で学んだ栄養・食事・メンタルケアなどを応用しながら日々の生活やトレーニングに取り入れ、宣言通り100m平泳ぎで優勝を勝ち取ることができました。今後も競技を続けていくうえでこれらを役立てていきたいと思えます。



★11期生 日本代表を経験して

陸上競技 女子 谷 純花
金沢学院大学2年

私は、世界競歩チーム選手権にU20女子10km競歩の日本代表として出場しました。私自身初めての海外、初めての日本代表ということもありプレッシャーや緊張もありましたが、今大会を通してレースだけではなく生活の中から様々な貴重な経験をさせていただけるということで、わくわくした気持ちや自分が世界の舞台でどこまで通用するか知ることができるのが楽しみという気持ちのほうが大きかったです。大会直前の怪我の影響で万全のコンディションで挑むことができず満足する結果とはなりませんでした。世界の舞台の雰囲気や力の差を肌で感じるこ

ことができ、今後に繋がる充実した経験をする事ができました。

『未来のアスリート発掘事業』では11期生として身体能力育成プログラムや知的能力育成プログラムを受講しました。専門の先生方からアスリートに必要なことを多く学び、小学生の頃からどうしたら試合でいいパフォーマンスができるのか、今の自分には何が足りないのかななどを自分で考えるきっかけを得ることができ、競技に対しての向き合い方も変わったと思います。特に印象に残っているのはメンタルトレーニングです。自分の力を最大限発揮するために最適な心の状態やその状態に持つていくための方法について学び、そこで学んだ呼吸法や筋弛緩法、セルフトークからのプラス思考などはルーティーンとして今でも活かされています。『未来のアスリート発掘事業』で学んだことをこれからも競技に活かしていきたいです。

富山から世界へ



富山から世界へ

スキー(クロスカンツリー)競技 山崎 大翔
早稲田大学4年

U23 World Ski Championships は、23歳以下の年代を対象としたクロスカンツリースキーの世界選手権です。私は2024年2月、スロベニアのプラニツァで開催されたこの大会に出場しました。U23の 카테고リーに上がって初めての国際レースということもあり、自分がどの程度の成績を残すことができるのか、期待と興奮を胸に出国したことを覚えています。

この大会では、15位以内に入ることでワールドカップという世界最高峰の舞台に参戦できるチャンスが得られます。その目標を胸に滑走した結果、19位となり、惜しくもワールドカップ出場の権利を逃してしまいました。しかし、得られたものは多く、課題も含めて今後の糧となる貴重な経験となりました。

この大会を通じて、国際舞台での自分の現在地を知ると同時に、さらなる挑戦への意欲が湧いてきました。世界で戦うにはまだ力不足であることを痛感した一方で、確かな手応えも感じました。「いい経験」で終わらせるのではなく、この経験を糧に次のステップへとつなげていきたいと思えます。

富山の地からスタートし、今後はより多くの経験を積み、世界の舞台で活躍できる選手を目指して精進していきます。



様々な苦難を乗り越えて

カヌー競技 酒井 海倫
富山北部高等学校3年

中学3年生の全国中学生大会でシングル5位、フォア3位の結果を残せたものの、大きな悔しさを抱き、「高校で必ず日本一になりたい」と決意したことを今も鮮明に覚えています。

厳しい高校の練習を無我夢中で取り組み、自信をもって迎えた高校2年生の3月、海外派遣選手選考会。その年の世界ジュニア選手権の日本代表を決める大舞台で、指定された上位6名の枠に入ることができ、ブルガリアで開催されるジュニア世界最高峰の舞台への切符を手にすることができました。日本代表合宿の度に

調子を上げていき、世界に挑んだものの、懸命に戦った結果は予選落ち。世界の壁の高さを痛感したと同時に、次は全日本の代表となって世界に再挑戦したいと憧れをもつようになりました。

チームに戻った後はすぐに目標を切り替え、インターハイや日本ジュニア選手権に挑みました。シングル、ペアともに入賞はできたものの、納得できるようなレースはできず、私たちが目標としていた「優勝」とは程遠い結果となってしまいました。残すは、高校最後の舞台であり、最大の目標としていた国民スポーツ大会となりました。昨年のかごしま特別国体では、下馬評を覆す好成績を収められたことから、佐賀国スポもペアで挑むことになりました。しかし、ペアの相方と力を合わせて取り組もうと思っていたある日、顧問の松崎先生から言い渡されたのは、ペアの前後を入れ替えるという、私たちにとって受け入れ難い作戦でした。勝負するにはあまりにも練習期間が短く、私たちの技量を考えても、そのままの位置で挑む方が安定した結果が得られると思っていました。新しい作戦のもと練習を始めても、すぐにうまくなることはなく、不安や焦りを感じることもありました。松崎先生と相方の藤縄と何度も何度もミーティングを重ねてきたことで、いつの間にか迷いなく「国スポ優勝」だけを見て練習することができました。また、メニューをこなすだけでなく、相方と精一杯のコミュニケーションを図り、優勝するためお互いの特徴を理解し考えを深めました。困ったときには、松崎先生にアドバイスをいただきながら練習をこなせたことで、毎日自分たちの成長をよく感じながら質の高い練習を重ねることができました。

観客やメディアが一段と多く、特別な緊張感があつた国スポ決勝の舞台。予選までの追い風とは打って変わり、向かい風が強い状況に一変しました。私たちは、3年間かけて磨き続けてきたラストスパートが絶対に生きるという強い自信をもちレースに挑み、序盤は落ち着いて狙い通りの4番の位置につけていました。そして、300m地点のコースブイを越えたところで一段階ギアを上げてトップに並び、さらにラスト100mで最後のギアを上げたことで、最終的には2位との差を広げながらゴールすることができ、「日本一」の喜びを瞬時に得ることができました。全てを信じて努力してきたことが報われ、今までになく、言葉にならないほどの達成感を得ることができました。レース後には、先生方やチームメイトとともに最高の喜びを共有することができ、また、富山県の関係の皆様からも多くの声を掛けていただき、たくさんの方に支えていただいたことで、ここまでこれたのだと改めて実感することができました。この場をお借りして、支えてくださった全ての方に感謝申し上げます。

私は、大学で体育学を学びながら競技を続けます。厳しいシニアの環境でも戦えるよう、さらなる努力を続けていきたいと思えます。引き続き、応援を賜りますよう、よろしくお願い致します。

令和6年度富山県スポーツ協会表彰

令和6年度公益財団法人富山県スポーツ協会表彰式を12月2日(月)、パレプラン高志会館において、澤崎 豊 富山県議会厚生環境委員会委員長をお迎えして開催しました。

表彰式では、全国大会や国際大会で優秀な成績を収めた選手・チーム・指導者と、当協会や加盟団体の発展に尽力された方々48名と5団体に、新田 八朗 会長が表彰状と記念品を贈呈しました。

特別表彰では、第33回オリンピック競技大会スケートボード女子ストリートで7位入賞の中山 楓奈 選手、令和6年度全国高等学校総合体育大会男子100m平泳ぎで優勝した鎌田 望琥人 選手をはじめ国際大会や全国大会で優秀な成績を収めた選手、団体を表彰しました。

国スポ表彰では、国民スポーツ大会で3位入賞した方々を表彰しました。また、加盟団体の役員、県スポ協の理事を務められた方々には特別表彰や感謝状を授与しました。

最後に受賞者を代表し、第33回オリンピック競技大会バドミントン競技女子シングルスで5位入賞の大堀 彩 氏から会長へ謝辞が述べられました。



※特別表彰※

- (1) 富山県スポーツ協会の理事又は加盟団体の会長、副会長、理事長（理事長を置かない団体においては、理事長にかわる専務理事等の役員）として通算10年以上在職し、その功績が顕著と認められる者
ただし、この表彰は1回限りとする

氏名	所属	氏名	所属
川島 茂	陸上競技協会	牧野 光男	バドミントン協会
川端 岳史	レスリング協会	高岡 公平	空手道連盟
故 高辻 則夫	ソフトテニス連盟	布村 忠弘	富山県スポーツ協会

- (2) 日本選手権、全国高等学校総合体育大会、全国中学校体育大会に出場し優勝したチーム又は選手及び指導者
ただし、指導者の推薦については、指導歴1年以上・1回限り
全国高等学校総合体育大会、全国中学校体育大会で行われない競技種目及びこれらに準ずる大会で最高学年が出場できる大会についても同様（表彰対象期間 令和5年10月21日～令和6年10月20日）

チーム名・氏名(所属)	競技名	対象大会成績
鎌田 望琥人 (高岡商業高等学校)	水泳	令和6年度全国高等学校総合体育大会 第92回日本高等学校選手権水泳競技大会 男子100m平泳ぎ
大石 隆文 ((公財)高岡市スポーツ協会)	水泳	鎌田 望琥人 指導者
楡原中学校 ボート部 男子ダブルスカル 中村 修真 村田 遥希	ローイング	第44回全日本中学選手権競漕大会 男子 ダブルスカル
戸島 立晶 (楡原中学校)	ローイング	楡原中学校ボート部 指導者
真田 明花李 (滑川高等学校)	ウェイトリフティング	令和6年度全国高等学校総合体育大会 ウェイトリフティング競技 女子 +76kg級
浦田 樹里 (早稲田大学)	カヌー	令和6年度日本カヌースプリント選手権大会 女子 K-1 (カヤックシングル) 200m

- (3) オリンピック競技大会、世界選手権大会、ワールドカップ、FISU ワールドユニバーシティゲームズ、アジア競技大会、ユースオリンピック競技大会、ジュニア世界選手権大会に出場し、優秀な成績を収めた選手
(表彰対象期間 令和5年10月21日～令和6年10月20日)

氏名(所属)		競技名	対象大会成績	
大堀 彩	(トナミ運輸(株))	バドミントン	第33回 オリンピック競技大会 女子シングルス	5位
中山 楓奈	(早稲田大学)	スケートボード	第33回 オリンピック競技大会 女子ストリート	7位

- (4) 国民スポーツ大会に監督及び選手として通算10回以上出場した者

氏名	所属	氏名	所属
澤田 一矢	レスリング協会	室谷 悠	アーチェリー協会
井上 英之	剣道連盟	若井 聡志	ゴルフ連盟

※国スポ表彰※

- (1) 第78回国民スポーツ大会に出場し、3位以内に入賞したチーム又は選手

氏名(所属)	種別・種目		順位
富山選抜 竹原 義之 (農事組合法人野口営農組合) 山崎 大翔 (早稲田大学) 山下 陽暉 (自衛隊体育学校) 廣瀬 峻 (株長田組)	スキー	冬季大会 成年男子 クロスカントリーリレー	1位
廣瀬 峻 (株長田組)	スキー	冬季大会 成年男子A クロスカントリー 10km	1位
村上 英士朗 (いちご(株))	ウエイト リフティング	本大会 成年男子 +109kg級 スナッチ クリーン&ジャーク	1位 2位
旭 夏希 (関西大学)	ライフル 射撃	本大会 成年女子 10mエア・ライフル女子60発	1位
浦田 樹里 (早稲田大学)	カヌー	本大会 成年女子 スプリント K-1 (カヤックシングル) 200m 500m	1位 2位
富山選抜 富山北部高等学校 酒井 海倫 藤縄 輔玖	カヌー	本大会 少年男子 スプリント K-2 (カヤックペア) 500m 200m	1位 3位
前田 梓 (ダイチ(株))	スケート	冬季大会 成年女子 スピードスケート 3000m	2位
富山選抜 道添 光輝 (桜井高等学校) 橋 鼓太郎 (入善高等学校) 白川 仁 (桜井高等学校)	アーチェリー	本大会 少年男子 団体	2位
山下 陽暉 (自衛隊体育学校)	スキー	冬季大会 成年男子A クロスカントリー 10km	3位
鈴木 聖矢 (富山大学教職大学院)	陸上	本大会 成年男子 3000mSC (障害)	3位
四方 美咲 (陽進堂ホールディングス(株))	ローイング	本大会 成年女子 シングルスカル	3位

(2) 第78回国民スポーツ大会において、競技別総合8位までに入賞した競技団体

団体名
スキー連盟
成績
7位



特別表彰

(3) 国スポの成年の部に通算5回以上（異種目も可）出場した選手
ただし、大学在学中の出場は除くこととし、この表彰は1回限りとする

氏名
長谷川 智彦
所属
ライフル射撃協会



国スポ表彰



感謝状

※感謝状※

(1) 加盟団体の発展に尽力し、役員として通算10年以上在職し、特にその功績が顕著と認められる者（1回限り）

氏名	推薦団体	氏名	推薦団体
上山 智司	水泳連盟	角谷 敬一	柔道連盟
放生 稔	テニス協会	北島 一朗	柔道連盟
清水 学	ソフトテニス連盟	越田 利徳	柔道連盟
高崎 克己	ソフトテニス連盟	堀 正行	ビーチボール協会
小幡 明彦	ソフトテニス連盟	沢 均	ビーチボール協会
小坂 桂史	相撲連盟	中村 清志	高岡市スポーツ協会
江渕 正弘	相撲連盟	上野 進	射水市スポーツ協会
林 憲正	相撲連盟	松木 一成	氷見市スポーツ協会
稲垣 晋	相撲連盟	宮 一弘	小矢部市スポーツ協会
岩脇 聡	柔道連盟	村上 公堂	立山町スポーツ協会

(2) 県スポ協の理事を通算5年以上10年未満で退き、その功績が顕著と認められる者（1回限り）

氏名	推薦団体	氏名	推薦団体
笹林 一樹	富山県スポーツ協会	西村 和人	富山県スポーツ協会

第34回富山県スポーツ少年団競技別総合交流大会

本年は、6月8日(土)から11月17日(日)を会期とし、富山県総合体育センターほか10会場において、令和6年度富山県スポーツフェスタ第34回富山県スポーツ少年団競技別総合交流大会が開催されました。

県内各地から、2,455名の団員・指導者が集い、声援と拍手の中、軟式野球競技など12競技が行われ交流を深めました。各競技の様子や成績をご紹介します。



***** 優勝一覧 *****

★サッカー競技 6月15日(土)・16日(日)
定塚F・C(高岡市)

★バレーボール競技 8月17日(土)・18日(日)
男子 侍バレーボールクラブ(射水市)
女子 黒部キッズバレーボール(黒部市)

★ミニバスケットボール競技 7月13日(土)・14日(日)
男子 定塚ミニバスケットボール(高岡市)
女子 庄東(砺波市)

★卓球競技 6月22日(土)
小学4年男女の部
本多 千桜(福光卓球 南砺市)
小学5・6年男子の部
餅川 蓮(STEP氷見 氷見市)
小学5・6年女子の部
本林 凜香(小杉卓球クラブ 射水市)
中学男子の部
稲石 光琳(STEP氷見 氷見市)
中学女子の部
針山 彩優(小杉卓球クラブ 射水市)

★軟式野球競技 6月8日(土)・15日(土)・22日(土)・23日(日)
萩浦(富山市)

★柔道競技 6月23日(日)
団体 富山市
小学3年-30kgの部
関 都亜(高岡西条柔道教室 高岡市)
小学3年+30kgの部
古山 尚志(高岡西条柔道教室 高岡市)
小学4年-35kgの部
藪下 瑚都(県営富山武道館 富山市)
小学4年+35kgの部
米田鳳土郎(県営富山武道館 富山市)
小学5年-40kgの部
堀 大雅(戸出柔道 高岡市)
小学5年+40kgの部
中村 英(県営富山武道館 富山市)
小学6年-45kgの部
石島 叶望(高岡西条柔道教室 高岡市)
小学6年+45kgの部
佐野春太郎(高岡西条柔道教室 高岡市)

★ソフトボール競技 6月15日(土)
宮野(富山市)

★バドミントン競技 6月22日(土)

小学4年男子の部
加藤 晃太・山田 将翔(新湊ジュニアバドミントンクラブ 射水市)
小学4年女子の部
崇田 花音・崇田 心花(上市バドミントンスクール 上市町)
小学5年男子の部
鹿間 奏斗・譚 孝博(堀川南 富山市)
小学5年女子の部
酒井 優那・宮崎 楓佳(堀川南 富山市)
小学6年男子の部
堀田 海翔・菊島 悠生(豊田校下 富山市)
小学6年女子の部
崇田 夏鈴・伍嶋 彩星(上市バドミントンスクール 上市町)

★剣道競技 11月17日(日)

団体 高岡市
小学4年男女の部
西野 結人(凌雲館 村雲道場 富山市)
小学5・6年男子の部
横山 亮介(県営富山武道館 富山市)
小学5・6年女子の部
宮島 愛心(福野剣道 南砺市)
中学男子の部
山本 煌來(凌雲館 村雲道場 富山市)
中学女子の部
山下 絢羽(小杉南剣道 射水市)



★ソフトテニス競技 7月7日(日)

男子 WING射水(射水市)
女子 WING射水 A(射水市)



★ホッケー競技 7月6日(土)

男子 小矢部RED OXホッケースポーツ少年団A(小矢部市)
女子 小矢部RED OXホッケースポーツ少年団A(小矢部市)

★空手道競技 6月22日(土)

形男女 高岡空手道 A(高岡市)
組手男子 上市町空手協会(上市町)
組手女子 黒部正拳(黒部市)



北信越ブロックスポーツ少年団競技別交流大会

第44回北信越ブロックスポーツ少年団競技別交流大会が9月14日(土)から9月29日(日)に富山県にて開催され、バドミントン、卓球、柔道の3競技で各県代表チームが試合や交歓交流を通じて交流を深めました。

また、11月2日(土)、3日(日)には全国バレーボール交流大会への出場をかけたバレーボール競技が開催されました。富山県代表のチームは全国大会への切符は逃しましたが3位と健闘しました。福井県の上庄キッズバレーボールスポーツ少年団が優勝し、全国大会の切符を獲得しました。

【各競技結果一覧】

競技	出場チーム	成績
バドミントン(男子)	富山県選抜 A	2位
バドミントン(男子)	富山県選抜 B	1位
バドミントン(女子)	富山県選抜 A	1位
バドミントン(女子)	富山県選抜 B	敢闘賞
卓球(男子)	南砺市スポーツ少年団	敢闘賞
卓球(男子)	氷見市スポーツ少年団	3位
卓球(女子)	南砺市スポーツ少年団	2位
柔道(男女)	富山市スポーツ少年団	1位
柔道(男女)	高岡市スポーツ少年団	2位
バレーボール(男子)	侍バレーボールスポーツ少年団	3位
バレーボール(男子)	黒部 JVC	敢闘賞



第51回日独スポーツ少年団同時交流事業(受入)



日本スポーツ少年団とドイツスポーツユースの団員が、相互交流により友好と親善を深め、国際能力を高めると共に、両国の青少年スポーツの発展に寄与することを目的とした「第51回日独スポーツ少年団同時交流事業」が7月30日(火)～8月3日(土)までの5日間入善町において行われ、スキー競技のユース団員9名と指導者1名を受け入れました。

今回の交流では、カローリング体験やビーチボール体験で入善町スポーツ少年団員と交流しました。富山県スポーツ少年団リーダー会と「スポーツにおけるSDGs」についてディスカッションしました。また、ホームステイ、夏祭りの参加などたくさんのプログラムを通して、両国の友好の輪を築きました。



第77回 富山県民体育大会

第77回富山県民体育大会は、7月27日(土)、28日(日)を中心会期に、県内10市4町を主会場にして行われました。この県民体育大会は、一部:競技スポーツの部(チャンピオン部門)、二部:県民スポーツの部(地域対抗部門)、三部:健康と体力づくりの部(交流部門)の三部からなり、冬・夏合わせて45競技に選手・監督・役員合わせて21,257名が参加しました。



クレール射撃



サッカー



ソフトテニス



フェンシング



弓道



ホッケー



空手道



柔道



馬術

7月29日(月)に富山県総合体育センターにおいて閉会式が行われました。閉会式には、12郡市の体育・スポーツ協会関係者約40名が集まり、冬・夏に繰り広げられた二部について成績発表の後、一般の部、中学の部の各部門において1~3位の郡市をそれぞれ表彰しました。第77回大会は、一般の部、中学の部ともに富山市が優勝、2位は高岡市でした。一般の部の3位は射水市、中学の部の3位は砺波市でした。また、躍進賞の一般の部は魚津市が受賞されました。



閉会式の様子

◇ 上位成績一覧 ◇

一般の部		中学の部	
1位	富山市 (29年連続 70回目)	1位	富山市 (42年連続 48回目)
2位	高岡市	2位	高岡市
3位	射水市	3位	砺波市

◇ 躍進賞 ◇

一般の部
魚津市



郡市対抗一般・中学の部優勝の富山市

Enjoy!スポーツとやま2024

令和6年9月23日(月・休) 富山県総合運動公園(屋内グラウンド、陸上競技場、ファミリー広場)

「Sport in Life」の啓発活動や多様なスポーツプログラムを県民に提供することで、スポーツ活動の習慣化を促すとともに、スポーツ活動や参画によるウェルビーイング(心身の健康、自分時間の充実、生きがい、つながり)の向上を目指したスポーツイベントを開催し、延べ6,063名が様々なスポーツに親しまれました。



令和6年度地域スポーツ指導者研修会

令和6年7月13日(日) 富山県総合体育センター

未就学児・小学生へのスポーツプログラム

幼児期から運動習慣を形成するために
地域スポーツにできること

澤 聡美 氏

(富山大学学術研究部教育学系 准教授)

「親とのコミュニケーションが少ない子ども」、「親の生活習慣がよくない子ども」は運動不足の可能性があり、親子での健康教育が必要という調査・研究結果をもとに、新聞紙やペットボトルなど身近にあるモノを道具にし、運動プログラムを体験しました。

本研修会は、「日本スポーツ協会公認スポーツ指導者」資格更新研修、「健康・体力づくり事業財団」更新資格認定と兼ねて開催しました。



一般・シニアへのスポーツプログラム

ウェーブストレッチリングを活用した、
姿勢、機能改善の為に
筋膜リリース&ストレッチ&筋トレ法

牧 直弘 氏

(NPO法人日本ウェーブストレッチ協会 理事長)

人体の仕組み(骨、筋肉)を学び、「整える」「ほぐす」「伸ばす」「引き締める」エクササイズで、健康でしなやかな体づくりをウェーブストレッチリングを活用して実践しました。



とやま週イチスポーツ推進事業

新たなスポーツ人口の掘り起こしにつながる教室を実施し、スポーツ人口の拡大及び運動やスポーツの習慣化を図ることを目的に県からの委託を受け、総合型地域スポーツクラブ14クラブが21教室を実施しました。

実施教室内容：①働き盛り世代、子育て世代を対象とした教室 ②小・中高校生を対象とした教室
③子どもの体力・運動能力向上を目指した教室 ④健康増進を目的とした教室(一般、高齢者など)

※本事業は、スポーツ振興くじ助成金を活用して実施しました



富山県内総合型地域スポーツクラブ

NO.	市町村	クラブ名
1	富山市	NPO法人 ひがしスポーツクラブ★
		NPO法人 スクエア富山
		NPO法人 富山スイミングクラブ☆
		(一社)パレススポーツクラブ★
		(公財)富山市スポーツ協会スポーツクラブ★
		①スポーツクラブ富山
		②水橋身体スポーツクラブ
		③東富山スポーツクラブ
		④みなみスポーツクラブ
		⑤2000年スポーツクラブ
		⑥武道学園
		⑦アルペンスポーツクラブ
		⑧YAKIYAMAスポーツクラブ
		⑨スボールおおもやクラブ
		くれは総合型スポーツクラブ★
		NPO法人 五福公園スポーツクラブ さくら
		NPO法人 きらびか☆スポーツクラブ
		NPO法人 中央スポーツクラブ
		大広田元気スポーツクラブ
		(一社)エヌスポーツクラブ
(一社)水橋フットボールクラブ★		
(一社)ジーズスポーツクラブ★		
NPO法人 ふちゅうスポーツクラブ★		
やまだスポーツクラブ		

NO.	市町村	クラブ名
2	高岡市	AQUOS万葉スポーツクラブ
		(一社)高岡スポーツユナイテッド★
3	射水市	NPO法人 遊・Uクラブ★
		NPO法人 新湊カモンスポーツクラブ★
		NPO法人 こすぎ総合スポーツクラブ きらり★
		NPO法人 だいもんスポーツクラブ
		NPO法人 しもむらスポーツクラブ まいけ★
		NPO法人 おおしまスポーツクラブ★
4	魚津市	天神文化スポーツクラブ
		総合型地域スポーツクラブ うおづポラ★
		スマイル本江スポーツクラブ
5	氷見市	スポーツラザ ひみ
		総合型地域スポーツクラブ ふれんず★
6	滑川市	なめりCANクラブ
		NPO法人 フットボールセンター富山★
7	黒部市	(公財)黒部市体育協会KUROBE
		スポーツファミリー★
8	砺波市	NPO法人 K Uサポートクラブwill★
		NPO法人 SEIBUスポーツクラブ★
9	小矢部市	となみスポーツクラブ トライズ☆
		庄川スポーツクラブ アユーズ

NO.	市町村	クラブ名
10	南砺市	NPO法人 クラブJoy★
		NPO法人 アイウェブ★
		NPO法人 ぶくのスポーツクラブ★
		NPO法人 福光スポーツクラブ★
		たいらスポーツクラブ
11	舟橋村	利賀スポーツクラブ
		いのくちスポーツクラブ
		五箇山スポーツクラブ
		舟橋文化スポーツクラブ バンドリー★
		(一社)常願寺川公園スポーツクラブ★
12	上市町	上市町総合スポーツクラブ さんさん★
		Rヴィレッジスポーツクラブ
13	立山市	立山フレンドリースポーツクラブ
		(一社)立山連峰スポーツクラブ機構
14	入善町	スポーツクラブ入善
15	朝日町	ひすいスポーツクラブ☆

SC 全国協議会登録 (R6.4.1 ~ R7.3.31)
★登録(27) ☆準登録(3) ※県独自

★☆富山県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会加盟クラブ (R6年度)

★ 総合型地域スポーツクラブ紹介 ★

総合型地域スポーツクラブ うおづスポラ



魚津のスポーツは“スポラ”まで

会長 島津 豊

うおづスポラ(以下「スポラ」)は、公益財団法人魚津市スポーツ協会が運営するクラブです。魚津市スポーツ協会は、ありそドーム、室内温水プール、桃山運動公園等の指定管理業務を受託しており、スポラはこれらの施設を拠点に活動しています。“スポーツを通じた住民の健康増進とコミュニティづくり”をミッションに掲げて20年。2024年度は約40の教室事業を軸に、季節に応じたイベント開催、地域への指導者派遣、市内の

スポーツチームや部活動のサポート事業などを行ってきました。

そんなスポラは今、過渡期を迎えています。少子高齢化が進行する中、いかにしてより多くの住民にサービスを提供するのか。部活動の地域移行に対してどのように貢献していくのか…このような課題に直面し、新たな取組みを始めました。例えば、市内の地区コミュニティセンターにて開催した「体験型健康増進教室」。これは、スポラの拠点施設から離れた地区にもサービスをお届けしよう!という試みです。普段はありそドームまで来られない方にもご参加いただき、おかげさまで好評をいただきました。拠点施設での実績を満遍なく地域に広げることが、今後のスポラにとって大切なポイントであると感じました。

また、部活動の地域移行については、市が進めている「地域クラブ推進事業」の事務局を、2025年度より市教育委員会と私たち(魚津市スポーツ協会)が共同で務めることになりました。スポラとしては、2023年度から市に先行して部活動をサポートしてきたことにより、指導者謝金の支払い・会場の確保・教室参加者の申込受付など、事務局に必要な業務を普段から重ねています。このようなノウハウを活かしながら、関係団体と相互に協力し、魚津市の皆さんにとってより良いスポーツ環境を整えていければと考えています。

地域課題が明確になればなるほど、スポラの使命も明確になります。魚津市におけるスポーツ推進の中心的な役割を担い、“スポラがあれば大丈夫!”と言われるようなクラブになれるよう、スタッフ一同努めています。



令和6年度富山県スポーツ指導者研修会

富山県内の日本スポーツ協会公認スポーツ指導者のさらなる資質向上と活動促進及び、指導者の連帯感を深め組織的活用をはかることを目的とした、令和6年度富山県スポーツ指導者研修会を、12月1日(日)に232名の参加を得て、アイザック小杉文化ホール ラポールにて開催しました。

立教大学スポーツウエルネス学部教授の松尾 哲矢 氏による「プレーヤーズセンターの推進と指導者の役割」と日本スポーツ協会 公認スポーツ栄養士の館川 美貴子 氏による「スポーツと栄養 -アスリートに望ましい食事と試合の時の食事-」の講演を聴きました。

本研修は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の資格更新のための更新研修の一つとして取り扱われます。



公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰

日本スポーツ協会では、永年にわたりスポーツ指導育成及び組織化、競技力の向上、公認スポーツ指導者制度の発展その他、国民スポーツの振興に貢献した者のうち、特に顕著な功績があった指導者を表彰しており、本県から5名の方々が受賞されました。

指導者等表彰受賞者

氏名	資格
廣瀬 修	ソフトボールコーチ2
北山 豊	陸上競技コーチ4
浅倉 基	自転車競技コーチ1

氏名	資格
藤井 利晴	水泳上級教師 競泳コーチ3
布村 忠弘	スポーツドクター アスレティックトレーナー バレーボールコーチ1

加盟団体紹介

富山県カヌー協会の活動内容

富山県カヌー協会
理事長 橋本 充

富山県カヌー協会は、前身の富山カヌークラブが中心となって結成され、1999年には富山国体のリハーサル大会を兼ねて井田川で「環太平洋カヌースラローム大会」という国際大会を開催した。2000年富山国体の開催時に現在の体制ができ、スプリント競技は上市カヌー競技場で、スラローム、ワイルドウォーター競技は井田川カヌー場を実施された。井田川カヌー場は日本屈指のスラロームコースと高く評価され、NTCに指定され、世界に羽ばたく選手の強化育成の拠点として多くの選手の育成に貢献するとともに、リオデジャネイロ五輪アジア地区最終予選会を兼ねた「アジア選手権大会」という2回目の国際大会やNHK杯、日本選手権大会、ジャパンカップ、海外派遣選手選考会など重要な公式大会を実施してきました。スプリント競技では、オリンピックや国体で連覇するなど、多くの優秀な成績をあげており、現在ナショナルチームのメンバーも育っています。上市町ジュニアカヌークラブ、富山県立北部高校カヌー部、チロルカヌークラブなどが、全国少年少女カヌー大会や全国中学生カヌー大会、インターハイ、国民スポーツ大会（旧国民体育大会）、NHK杯、日本選手権大会、ジャパンカップ、などの公式大会で、小学生から成年まで、毎年優秀な成績をあげております。今後もオリンピックなど国際大会で活躍できる選手の育成に向けて、練習環境の整備、強化、普及に努め、富山県からオリンピック選手を育てたいと願っています。



地域貢献社会、普及強化を目指して

富山県チアリーディング協会
会長 小竹 美夏

チアリーディングは「人を応援すること」を根源としています。地域貢献と競技スポーツの2本柱とし、大きな声を出して観客をリードし掛け合いを行うことがチアリーディング独特の技術であり、観てくれる全ての人へ「元気・勇気・笑顔」を送るといった精神力を高めながら様々な地域のイベントやスポーツ応援での地域貢献活動に取り組んでいます。

競技スポーツとしては、世界選手権大会が2年おきに開催されており、昨年第12回世界選手権大会において富山県出身、辰島有美選手が日本代表選手として銀メダルを獲得致しました。過去にも5名の本県出身者が日本代表に選ばれており貢献しています。

また、ジュニアにおきましても昨年、チアリーディングチームPuppys(パピーズ)が全国大会優勝を果たし、日本代表として世界大会銀メダルを獲得しております。

これからも強化発展は勿論のこと、様々な方々に普及活動を心掛け、将来的にはどのような年齢層においても笑顔で活動できるスポーツとなることや、チアリーディングに精力的に携わる方が増えることを目標にし、全力で尽くして参りたいと思っています。



生涯スポーツ・競技スポーツとして

富山県ボウリング連盟
理事長 犬島 宗男

近年ボウリングは生涯スポーツ・競技スポーツとして飛躍発展し、国民の3分の1の人々が愛好する国民的スポーツとなりました。高齢者ボウラーも多数活躍しておられます。当連盟は1964年4月に設立されてから60周年となり、多くの皆様のご支援に支えられ歩んでまいりました。当連盟ボウラー、OB・OG、全国にいるボウラー、県内各行政関係の皆様感謝申し上げます。これまで全国スポーツレクリエーション祭、オールジャパンレディストーナメント、全日本実業団選手権大会及び同実業団産業別選手権大会、東日本選手権大会及び同シニア選手権大会、全日本新人選手権大会、北信越選手権大会等々さまざまな全国大会・地区大会を開催しています。連盟は民間の施設を有料で借り、諸事情等で十分な練習ができない弱点もありますが、弱音ばかりも言っていないません。与えられた時間範囲内で実のある練習が重要であります。全国的に通用する資質の高いスポーツマンとしての努力と、自らの負荷を背負える選手をつくり出すことが必要だと思われます。今全国のレベルは横一線であり、あと少しの技術力強化・精神面強化だと考えております。若手選手の発掘・育成、強化選手指定の選考方法の検討、ジュニア選手の育成・強化が大きな課題であります。しかし明るい兆しも見え、2020年に不二越工業高校がJBに学校登録していただき、学校でのクラブ活動としての設置に側面から協力し実現しております。今後も今まで以上に関係各所のバックアップをいただきながら全国で活躍できる選手を輩出できるよう取り組み、県民ボウリングの普及発展に努めていきます。



富山県高等学校体育連盟 令和6年を振り返って

理事長 岸 敬子

令和6年2月7日から11日に、本県では17年ぶりとなる「令和5年度全国高等学校総合体育大会 第73回全国高等学校スキー大会」を南砺市と富山市で開催いたしました。クロスカントリースキー女子5kmフリーで山本菜由子選手(南砺福野高校)が2位、スペシャルジャンプで坂大芳輝選手(雄山高校)が3位と、7種目で入賞を果たしました。新年に発生した能登半島地震や雪不足の影響がありましたが、多くの皆様のご支援のもと、大会を大成功に無事終わらせることができたとともに、高校スポーツ発展への気運が醸成された大会となりましたことに深く感謝申し上げます。

昨年末から今年の春休みにかけて開催された全国高校選抜大会では、ウエイトリフティング女子+76kg級で真田明花李選手(滑川高校)が1位、ホッケー女子で石動高校が2位、バドミントン女子で小田楓選手(国際大付高校)、相撲で高嶋一人選手(高岡向陵高校)が3位に入賞するなど、7競技13種目で30名が上位入賞しました。

また、高校生のスポーツの祭典、令和6年度全国高校総体「ありがとうを強さに変えて北部九州総体2024」は、7月21日～8月20日の日程で、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、北海道、福島県、和歌山県で開催され、本県からは中村謙作県高体連会長を団長として、30競技に502名の選手が参加しました。本県選手はよく健闘し、水泳男子100m平泳ぎで鎌田望琥人選手(高岡商業高校)、ウエイトリフティング女子+76kg級で真田明花李選手(滑川高校)が見事優勝、ホッケー男子で石動高校が2位、バドミントン男子学校対抗で高岡第一高校、相撲団体で高岡向陵高校、ホッケー女子で石動高校がそれぞれ3位入賞を果たすなど、12競技36種目で8位以上に入賞する好成績を収めました。

第78回国民スポーツ大会(SAGA2024)では、カヌー少年男子K-2の500mで酒井・藤縄選手(富山北部高校)が見事優勝、K-2の200mで3位、アーチェリー少年男子団体が2位に入賞するなど、冬季国スポを含めて、少年の部で13競技28種別で入賞を果たしました。

これらの大会の成果は、選手の日々の努力はもちろんのこと、指導者やご家族、周囲の方々のサポートの賜物であるとともに、県スポーツ協会や各競技団体、県高体連等の事業を活用するなど、「チーム富山」で取り組んだ成果であると思います。引き続き、関係機関と連携しながら、高等学校における体育・スポーツの普及・発展と健全な心身の発達に努めてまいりたいと思います。

終わりになりますが、日頃より高校生のスポーツ振興にご理解とご協力をいただいております皆様方に感謝申し上げますとともに、今後ともより一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。



富山県中学校体育連盟 令和6年を振り返って

理事長 藤田 慎吾



令和6年2月6日から9日にかけて全国中学校スキー大会が長野県野沢温泉村で開催されました。クロスカントリーリレーで男子選抜が8位、女子選抜が9位にそれぞれ入賞を果たし、幸先のよいスタートを切ることができました。

8月6日から8月9日にかけて、全国中学校体育大会の予選大会となる第45回北信越中学校総合競技大会が新潟県で開催され、本県から797名が出場しました。ハンドボール競技では西條中学校が男女ともに優勝を果たすなど、8競技21種目で優勝の栄冠に輝きました。

「君の憧れ 君の努力 その全てを北信越に」のローガンのもと、令和6年度全国中学校体育大会が北信越ブロックで開催され、富山県ではソフトボール(富山市)、相撲(射水市)、ハンドボール(氷見市)の3競技を開催しました。本県からは、12競技に202名の選手が参加しました。大会では、西條中学校男子ハンドボール部とバドミントン競技男子シングルス奥真優選手(伏木中)が準優勝、陸上競技男子四種競技の廣川祥真選手(戸出中)、女子1500m長森結愛選手(大沢野中)、水泳競技女子4×100mメドレーリレーのアピア富山、バドミントン競技男子シングルス舩田遼羽選手(伏木中)が3位入賞するなど、4競技13種目において入賞を果たしました。



また、全日本中学選手権競漕大会では、楡原中学校が男子ダブルスカルで見事優勝、また8月に富山県で開催された全日本中学生ホッケー選手権大会では、県勢が男女ともに健闘するなど、多くの選手が全国の舞台で活躍しました。

さらには、12月15日、滋賀県で開催された第32回全国中学校駅伝大会において、大沢野中学校女子が見事2大会連続2位となる快挙を果たすとともに、5区を力走した黒川志帆選手は2大会連続区間賞を獲得するなど、富山県の駅伝競技の歴史に輝かしい1ページを刻みました。



本連盟では、今後とも、県スポーツ協会や関係競技団体、関係機関と連携を図るとともに、スポーツ振興並びに選手の育成支援に努めてまいりたいと思います。

結びに、日頃より中学校の運動部活動に対してご理解とご協力をいただいております関係団体、並びに指導者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

全国中学校スキー大会

令和6年2月6日～9日 長野県野沢温泉村

順位	種別	種目	選手・チーム名
8位	クロスカントリー	男子リレー	富山県選抜チーム
9位	クロスカントリー	女子リレー	富山県選抜チーム

全国中学校駅伝大会

令和6年12月14日～15日 滋賀県

順位	種別	選手・チーム名
2位	女子	富山市立大沢野中学校
区間1位	女子5区	黒川 志帆(大沢野)

全国中学校体育大会

令和6年8月17日～25日 北信越ブロック

順位	種別	種目	選手・チーム名
2位	ハンドボール	男子	氷見市立西條中学校
2位	バドミントン	男子シングルス	奥 真優(伏木)
3位	陸上競技	男子四種競技	廣川 祥真(戸出)
3位	陸上競技	女子1500m	長森 結愛(大沢野)
3位	水泳競技(競泳)	女子4×100mメドレーリレー	アピア富山
3位	バドミントン	男子シングルス	舩田 遼羽(伏木)
4位	水泳競技(競泳)	女子4×100mフリーリレー	アピア富山
5位	ハンドボール	女子	氷見市立西條中学校
6位	陸上競技	女子1500m	黒川 志帆(大沢野)
6位	水泳競技(競泳)	男子1500m自由形	川縁 圭(富山東部)
6位	水泳競技(競泳)	女子100m平泳ぎ	進藤 咲月(オーパス高岡)
6位	水泳競技(競泳)	男子4×100mフリーリレー	富山市立東部中学校
7位	陸上競技	女子800m	島田 絢香(朝日)
7位	水泳競技(競泳)	男子100m背泳ぎ	辻口 哲平(魚津西部)
7位	水泳競技(競泳)	男子200m背泳ぎ	辻口 哲平(魚津西部)

全日本中学生ホッケー選手権大会

令和6年8月16日～19日 富山県

順位	種別	選手・チーム名
5位	女子	小矢部市立石動中学校

全国中学校ヨット選手権大会

令和6年7月26日～28日 香川県

順位	種別	種目	選手・チーム名
4位	学校対抗	団体戦の部	射水市立射北中学校
1位	女子	SH級	片林 未空(射北)
2位	女子	SH級	西尾 空子(射北)
2位	女子	MH級	林 天音(射北)
3位	女子	MH級	村田 紗垂(射北)
5位	女子	OP級	焼田 悠禾(射北)

全日本中学選手権競漕大会

令和6年7月26日～28日 岐阜県

順位	種別	種目	選手・チーム名
1位	男子	ダブルスカル	富山市立楡原中学校
3位	男子	シングルスカル	廣野 航平(大沢野)

公益財団法人富山県スポーツ協会役員等名簿

(令和6年6月19日現在)

役職名	氏名	所属団体等
会長	新田 八朗	富山県知事
副会長	喜多 進	(公財)高岡市スポーツ協会 会長
//	蔵堀 祐一	富山県副知事
//	品川祐一郎	(公財)富山市スポーツ協会 会長
理事長	竹内 延和	県生活環境文化部 部長
副理事長	水落 仁	県教育委員会 理事・教育次長
専務理事	東瀬 義人	(公財)県スポーツ協会 専務理事
常務理事	松本 智広	(公財)県スポーツ協会 常務理事
理事	池田やす子	県女性スポーツの会 会長
//	老月 守	山野スポーツセンター 所長
//	北島由紀子	県女子体育連盟 会長
//	五島 直樹	県教育委員会 保健体育課長
//	小林 福治	県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 幹事長
//	鮫島 梓	スポーツドクター
//	新保 暢	県生活環境文化部 スポーツ振興課長
//	田中 幸治	県公認スポーツ指導者協議会 会長
//	西川 友之	富山大学 名誉教授
//	安田 幸之	県スポーツ少年団 本部長
//	米山 隆	(独)日本スポーツ振興センター 国立登山研修所 所長
//	長田 一政	県スキー連盟 理事長
//	嶋田 利隆	(一財)県陸上競技協会 副会長

役職名	氏名	所属団体等
理事	佐伯 徳生	(一社)県水泳連盟 理事長
//	横井 憲治	(公社)県サッカー協会 専務理事
//	植野 聡	県ローイング協会 副会長
//	穴田 直樹	県ホッケー協会 理事長
//	五十里勘司	県バレーボール協会 理事長
//	中浦 悟	県ハンドボール協会 理事長
//	楠 一雄	県柔道連盟 常任相談役
//	廣瀬 修	(一社)県ソフトボール協会 理事長
//	荒木 純	県パドミントン協会 理事長
//	寺 真喜子	県なぎなた連盟 理事長
//	岸 敬子	県高等学校体育連盟 理事長
//	藤田 慎吾	県中学校体育連盟 理事長
//	池田 太	(公財)富山市スポーツ協会 専務理事
//	西本 幸夫	(公財)高岡市スポーツ協会 専務理事
//	島津 豊	(公財)魚津市スポーツ協会 理事長
//	横山 直一	(公財)砺波市スポーツ協会 専務理事
//	弓部 裕明	県生涯スポーツ協議会 理事長
監事	山口 崇和	県ソフトテニス連盟 理事長
//	白川 正秋	(公財)黒部市体育協会 副会長
//	川田 康弘	県生活環境文化部 県民生活課 主幹

スポーツ安全保険

小さな掛金で充実補償

熱中症も対象

加入区分・掛金 (年度初回加入時は4名以上)

加入区分	補償対象となる団体・グループ活動	加入区分	年間掛金 (円)
子ども (小学生以下)	スポーツ連盟	A1	800
子ども (中学生以上)	スポーツ連盟、県スポーツ協会、県サッカー協会、県ラグビー協会	C	1,850
大人 (高校生以上)	スポーツ活動(陸上・野球を含む)	E	1,200
大人 (高校生以上)	水泳活動、水球、ボート・カヌー活動、乗馬活動	A2	800
全年齢	各種大会(県大会・全国大会を含む)	ID	11,000
子ども (小学生以下)	A1 区分の補償と水泳連盟活動に加入、個人活動も対象	AW	1,450
子ども (中学生以上)	C 区分の補償と水泳連盟活動に加入、個人活動も対象	CW	4,850
大人 (高校生以上)	B 区分の補償と水泳連盟活動に加入、個人活動も対象	EW	5,000

Spō-An スポーツ安全協会
https://www.sportsanzen.org

編集後記

長らく「国体」の愛称で親しまれてきた国民体育大会が「国民スポーツ大会」へと名称変更されました。第78回国民スポーツ大会においては、スキー競技での2冠や、成年女子カヌー競技の2連覇など、本県選手が活躍しました。

また、第33回オリンピック競技大会では、本県にゆかりのある10名の選手が出場し、県民に大きな感動を与えてくれました。今年も本県選手の全国や世界の檜舞台での活躍ぶりが、県民に勇気と感動を与えてくれました。活躍している選手の中には、「未来のアスリート発掘事業」修了生も多く、選手たちの今後の活躍にも期待が膨らみます。

2025年も本会では、引き続き全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成を目指した競技力の向上と、県民が安全かつ快適にスポーツができるようスポーツ施設の環境を整え、県民の生涯スポーツの普及振興に寄与していきたいと考えております。

最後になりましたが、広報誌「スポ協TOYAMA」の発刊に際しまして、ご多用の中、本誌への寄稿・写真提供にご協力をいただきました方々に、心から感謝とお礼を申し上げ、編集後記とさせていただきます。